「題目」

（氏名（学籍番号） or コース名、学籍番号、氏名）

１．はじめに（15%）

1.1　問題の在処（10%）

私がこの問題を取り上げたのは、～

先行研究では、～

1.2　研究の目的（5%）

この問題について以下の点を明らかにしたい。

・なぜ、この問題は～

・いつごろからこの問題を～

２．研究方法（研究計画）（15%）

この問題を検討するにあたって、～

３．調査/実験（20%）

本稿（本研究）では、以下のような手順で調査を実施した。

（調査概要）

日時／場所

（被験者）･･･被験者の状況／データ数

調査条件

（※本文に組み込んでも良いが、調査概要は、箇条書きの方が読みやすい。）

４．結果と考察（40%）

本調査によって、以下のようなの結果が得られた。

５．まとめと今後の課題（10%）

ここまでの考察をまとめると、～

参考文献（“引用文献”でも可）

著者名（出版年）、『書名』、出版社、引用ページ。あああああああああああああああああああああああああああああああああああ

著者名（出版年）、「論文名」、『雑誌名』、巻、号、引用ページ。

※書く順序亜は、研究計画→調査/実験→結果と考察→まとめと今後の課題→はじめにの順。

コメントの追加 [s1]: 中央、フォント大、副題があれば次の行にフォントは小さめ。作成日時や授業名を書いておくと親切。

コメントの追加 [s2]: 中央 or 右寄せ

コメントの追加 [s3]: 節タイトルは、ゴシックか太字にすると読みやすい。またフォントサイズを 1 段挙げておくと読みやすい。

コメントの追加 [s4]: 本文全体に対するおよその分量の目安。

コメントの追加 [s5]: 小節は、「1.1」「1-1」等で。

コメントの追加 [s6]: 文頭、一字下げを忘れない。

コメントの追加 [s7]: 先行研究があれば、紹介・検討しても良い。
仮説があれば、はっきりと示しておく。

コメントの追加 [s8]: 箇条書きの場合、後にそこを取り上げる可能性があれば、①や１．等番号を振っておくと良い。

コメントの追加 [s9]: 調査・実験の状況は出来るだけ性格に示す。

コメントの追加 [s10]: レポート（論文）のメイン部分。出来るだけ分量を取る。研究の目的ごとに小節に分けても良い。もっとも力を入れる。

コメントの追加 [s11]: 図表には、必ずタイトルと通し番号を入れること。

コメントの追加 [s12]: 本稿での主張（結果と考察）を簡潔にまとめ直す。

コメントの追加 [s13]: 問題のない（課題が全て解決された）研究はない。必ず不備や追求が足りない部分がある。それを認める（客観視する）ことが良い研究の条件。言い訳にならないことに注意する。

コメントの追加 [s14]: 文献が 2 行にわたる場合、2 行目を 2 字程度インデントしておくと読みやすい。